

## 「科学技術政策特論」講義案内

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします



平成26年

5月2日(金)

5 講目

16:30-18:00



工学研究院  
オープンホール  
[B-201]

第5回

## 交通運輸分野における 技術政策について —安全政策等の実施事例から—

国土交通省 海事局総務課業務監理室長  
禮田 英一

### 禮田先生からのメッセージ

交通運輸は、我々の日常生活に深く関わっており、個人の日々の活動のみならず、国の経済を支える基盤的な行政分野である。

その「交通運輸」行政の中において、「技術政策」は「安全」をはじめ、多く政策目標において、その実現のためのツールであり、それらの目標を補完し実現を裏打ちするものであり、国土交通省が取り組むべき重要な政策課題の一つである。

昨年は、技術政策の総論を概説し、交通運輸分野での技術政策の現れとしての具体的な技術開発の国家プロジェクト等を紹介したが、今年度は、技術政策の理解への導入としての総論の展開とともに、技術に支えられた安全政策の現状等について、海事分野を中心に概説・紹介することとしたい。



### 禮田 英一 先生

早稲田大学理工学部機械工学科卒業後1990年に東京大学大学院工学系研究科原子力工学専攻修士課程修了し運輸省入省。以後、東京海運支局船舶検査官、海上技術安全局検査測度課、海事局技術課補佐、造船課補佐などを歴任。その傍ら、東京大学大学院で法學政治科政治専攻修士課程を修了。内閣府原子力安全委員会事務局管理環境課、総合政策局技術政策課技術開発推進室長を経て現職。国土交通省の船舶技術行政のエキスパートとして、交通運輸関係の技術開発政策全般、海事関係の行政（海運、船舶、船員など）、産業振興・技術開発行政（補助金、政策金融、政策税制等）まで幅広く経験され現在は、海事局関係安全業務の監査や海洋汚染防止法の改正に取り組んでおられます。